



生活ガラスコーティング Labo

あなたの大切なモノをキズや汚れから守ります

## ハードクリスタルNEOの施工について

スマートフォン施工の動画ならびに各種資料類はこちら



<https://www.coatinglabo.com/materials>

# スマートフォン、タブレット施工手順

1. 作業する場所にマイクロファイバークロスをひきます
2. 下地処理のために表・裏のクリーニング・脱脂作業を十分行います (クリーニング動画参照)
3. NEOの容器を慎重に開けて下さい (特に最初)。窒素ガスが注入されていますので、溶剤が吹き出す事がありますので注意してください
4. 容器先端のノズルにスポンジを押し付けて、容器先端を離さずしっかりくっつけて逆さにします。1滴がスポンジにつくのを確認して塗り込みます。縦・横と数回同一方向に塗りこみます(コーティング塗布動画参照)。最初は**裏面を1回**施工、その後**表面を3回**です。塗り込んだ後水をかけ、水拭きをしてから乾拭きをします (コーティング塗布動画参照)。水をかける際は水が侵入しそうな部分は指で塞ぐなどします

基本1工程で大丈夫ですが、アンドロイド系のようなプラスチック画面は2工程3工程やると滑りがよくなります。その際、最初につけた1滴で3工程までできます。取り扱いの注意点は、使用後必ず1回1回フタをして、作業完了後はラップにくるんで冷蔵庫での保管を徹底して下さい。保管が悪いと直ぐに固まってしまいます。

## <タブレットの場合>

7インチ、9インチサイズの場合、1度塗りであれば最初の一滴で可能ですが、実際の施工では2滴使い、裏1工程、表2or3工程行います。



# アクセサリ・時計・メガネ・PCの施工について

## ■メガネ

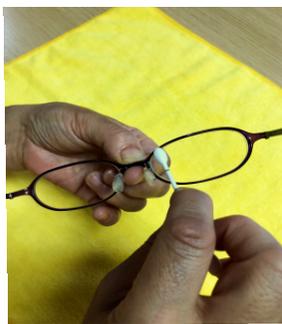
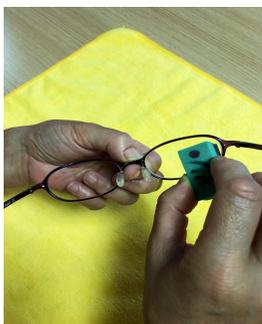
スマホと同じ大きさのスポンジで行います。全体的に汚れをしっかりと取ってNEOを1滴使い、2、3工程行います。水の工程ではスプレーではなくクロスに染み込ませてメガネを拭くようにします。最後はライトを当てながら拭き残しがないか確認し、フレームとレンズの間などは綿棒でしっかりと拭き取ります。

## ■アクセサリ・時計

モノによってはスポンジを小さくして施工します。NEOを1滴使い、2、3工程行います。水の工程ではスプレーではなく布に染み込ませてアクセサリを吹くようにします。ネックレスの鎖などはスポンジの柄の部分のカットして包むようにNEOを塗り込みます

## ■ノートPC

表、裏、キーボード、液晶部分の施工で3滴は使い、2工程が目安です。キーボードの部分の水の工程では、水の侵入を防ぐため、スプレーは使わずクロスに染み込ませてキーボードを拭きます



## クリーナーの付けすぎに注意！



クリーナーの成分はIPA（イソプロピルアルコール）です。

IPAの用途（三協化学株式会社ウェブサイトより引用）

●クリーナーとして

メガネレンズのクリーナーにもIPAが含まれています。水で拭くよりも乾燥が早く、ほこりや皮脂など、細かい汚れが取れやすいので活用されています。CDやDVDなどのプレイヤーのクリーナーとしても利用されます。また、コンタクトレンズの洗浄液にも、IPAが含まれるものもあります。



**クリーナーを直接スプレーしたり、付けすぎると弱ったコーティングが剥がれたり、色落ちするので注意してください。あやしいな？と思ったら水でクリーニングしましょう。**



# クリーナーの配合とスポンジの使い方

## ■クリーナーの配合

スプレー容器100ml（黒）がクリーナーです。シリンジ20mlに20mlクリーナーの原液を注入し、スプレー容器（黒）に入れて水で薄めます。水8に対しクリーナー2がスマホ等にはベストな配合です。水スプレーは溶剤塗布の時に使用しますので、クリーナースプレーと水スプレーを間違わない様にして下さい。

## ■スポンジの切り方

4ブロックにカットして1ブロックを3当分にカットすると使いやすくなります（スマホやタブレット、アクセサリなど）。スポンジはグレー側を使用

## ■マイクロファイバーの使い方

一つを20センチ四方の大きさにすると使いやすくなります。支給されたクロス（Costcoで販売されているもの）であれば4つにカットします。

